

注意！クビアカツヤカミキリの被害が発生しています！

○クビアカツヤカミキリについて

<体長> 約2.5～4センチメートル

<特徴> 全体的に光沢のある黒色で胸部（首部）が赤色

<生態> 幼虫は、樹木内部で2～3年かけて成長し、6月～8月頃に成虫となって樹木の外に現れます。



赤色

○被害について

- ・幼虫はサクラなどの生木に食入します。フラス（木屑とフンが混ざったもの）を発生させながら食入し、加害が進行すると樹木を衰弱させ、落枝等による被害が発生する可能性があるため、注意が必要です。



フラス



幼虫が食入した跡（フラス）

被害のあった樹木（断面）

○駆除方法について

<幼虫の駆除について>

- ・フラス排出孔から薬剤を注入し、樹木内部で殺虫する。

□登録農薬 ※指定された使用法を守ってご使用ください。

- ・ベニカカミキリムシエアゾール（住友化学園芸(株)）
- ・ロビンフード（住友化学(株)）
- ・アクセルフロアブル（日本農薬(株)）
- ・園芸用キンチョールE（大日本除虫菊(株)）
- ・マツグリーン液剤2（日本曹達(株)）

<成虫の駆除・拡散防止方法について>

- ・成虫を発見しだい、捕殺に努める。
- ・フラス排出孔を発見した場合は、拡散防止ネット等で覆い、成虫の拡散を防ぐ。

平成30年1月15日より外来生物法に基づく特定外来生物に指定されました。

- ・特定外来生物は、飼養（飼育）・保管、輸入、販売、譲り渡し、野外へ放つことが禁止されています。違反すると、個人の場合は最大で300万円の罰金若しくは3年間の懲役が科されます。

邑楽館林地域クビアカツヤカミキリ対策協議会

（館林市、板倉町、千代田町、明和町、大泉町、邑楽町、群馬県）

<お問い合わせ先>

- ・館林市役所 地球環境課 環境保全係 TEL:0276-72-4111（内線452）